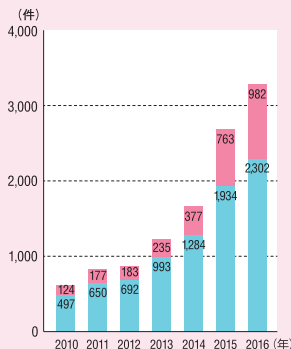


主な性感染症とその症状

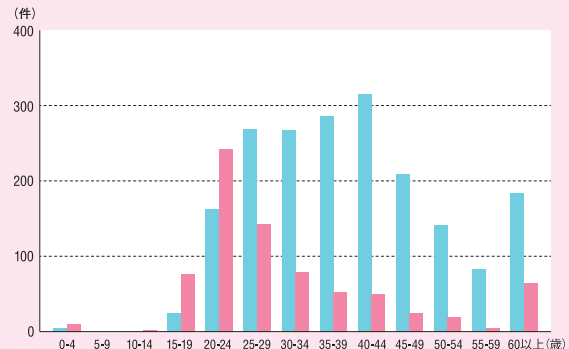
梅毒

痛みのない潰瘍が性器に形成され、治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節の腫脹、さらには数年～数十年後には血管や神経の障害等、全身に多様な症状をきたすことがあります。妊婦の感染は早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性があります。

梅毒報告数の推移*



年齢別にみた梅毒報告数(2015年)**



2010年以降、梅毒の報告数は増加を続けており、女性は20歳代、男性は20歳代～40歳代の報告が多くなっています。

*2010～2014年は感染症発生動向調査事業年報による。2015年、2016年は2016年10月11日時点集計値(暫定値)。2016年は2016年第1週から39週までの報告を対象。

淋菌感染症・ 性器クラミジア感染症

男性では排尿痛、尿道不快感、尿道からの分泌物、女性ではおりものの変化や下腹部の痛みといった症状をきたすことがありますが、感染しても無症状な場合も多いです。男性、女性の双方で不妊の原因になることがあります。淋菌と性器クラミジアは同時に感染していることが多いです。

性器ヘルペス ウイルス感染症

男性器、女性器に痛みを伴う水泡ができ、潰瘍になるものもあります。一度かかると治療しても繰り返し再発することがあります。女性の場合、妊娠・出産時の感染が胎児に重篤な合併症を引き起こすことがあります。

ヒトパピローマ ウイルス感染症

性経験のある女性の半数以上が一度は感染するとされています。症状はほとんどありません。様々なタイプがあり、一部のウイルスは、性器にいぼができる尖圭コンジローマの原因となったり、子宮頸がんや膣がんなどの原因となったりします。

HIV・エイズ

HIVに感染すると、初期症状にかぜのような症状が見られることがあります。その後、自覚症状のないまま徐々に免疫力が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる病気(日和見感染症)などを発症します。早期に治療を開始し、適切な治療を続ければ、感染前とほとんど同じ生活を送ることが可能です。HIV感染は検査でしかわかりません。

コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができます。

STI・HIVはセックス、オーラルセックス、アナルセックスなどで感染します。一度治っても再び感染することがあるので、パートナーと一緒に検査・治療を受けましょう。